

令和8年度の学校評価

重点目標	①児童生徒及び職員の人権を守り、多様な一人一人を認め合う学校づくりを進める。 ②想定される災害に対して防災体制を整え、児童生徒の安心安全な環境を整備する。 ③深い学びを確かなものにするための教育課程の見直しと教員の研修による専門性の向上を目指す。 ④地域とのつながりを大切にした教育活動を地域社会へ積極的に発信する。	
	具体的方策	留意事項
	① ・児童生徒の思いや考えを尊重した指導支援を行う。 ・児童生徒の実態に合わせ、自分のよいところや友達のよいところを見つけるなど人権に関する授業を行う。 【管理職】	・職員一人一人が言動に気を付け、児童生徒の人権に配慮した指導・支援を心がける。 ・児童生徒一人一人が、自分や周りの友達のことを考えて行動できる心を育てる。
	② ・防災の種類に応じた実践的な訓練を計画し、避難訓練に取り組む。 【指導】 ・災害発生時の、被害の状況や児童生徒の健康状態に応じた支援体制づくりをする。 【保健】	・災害発生時の2階からの避難について、対応方法を検討し、学校職員へ周知する。 ・より安全で安心な避難方法を確立し、訓練に活かしていく。 ・避難時において、けが人や体調不良者の把握や対応、医療的ケアの確実な実施等のために、さまざまな場面を想定した計画を立て、研修や訓練を行う。
③	・深い学びを確かなものにするために、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」の視点で教育課程の見直しを進める。 【教務】	・「何を学ぶか」を年間指導計画や学びの記録シートを活用し明確化する。 ・指導者連携会議等で、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」を関係職員で情報共有し、連携を深めるようにする。
	・研修の調整や新たな内容の研修を実施して専門性の向上を図る。 【研修】	・各分掌主任等と連携して研修内容の検討をしたり、実施時期を相談したりする。
	・教育課程の見直しに伴う自立活動の時間の指導について検討や改善を進める。 ・研修内容の強化を進め、専門性の向上を目指す。 【自立活動】	・令和9年度からの10分間の自立活動の実施等に向けて、指導の方向性を検討する。見直しに合わせて目標設定シートを一部変更し、目標や内容を明確にした指導や関係者間の共有、引継ぎができるようにする。 ・新転任者研修やプール学習の事前研修を中心に、研修の改善を図る。
④	・「学校だより」や行事の案内などを、紙媒体からデータでの配信へと変更していく。 【総務】	・学校からの情報を速やかに確実に伝えるために、「学校だより」などをプリントでの配付からアプリケーションを活用したデータでの配信へと随時変更していく。必要な家庭には引き続きプリントを配付する。
	・学校ホームページにより、本校の概要や教育活動、取組内容について発信を行う。 【情報図書】	・学校概要については、常に最新の情報が提供できるように努める。 ・学校紹介については、個人情報に配慮しつつ各部の授業、行事などバランスよく紹介する。 ・各コンテンツに責任者を定めて、掲載内容確認や更新について確実に行えるようにする。
	・学校における進路や地域支援に関する取組について情報発信をする。 【進路支援】	・ホームページを通して福祉サービス説明会や研修会、地域支援に関する情報を分かりやすく伝える。 ・産業現場等における実習やチャレンジ体験推進事業、ふれあい体験推進事業などの取組について、「進路だより」を通して紹介する。
学校関係者評価を実施する主な評価項目	○人権尊重 ○安心安全な学校 ○教員の専門性の向上 ○情報発信	